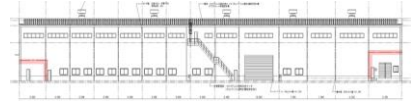


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新菱工業株式会社平塚工場第一工場	階数	地上1F
建設地	平塚市長瀬5番	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	30人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,300時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 予定	評価の実施日	2015年10月23日
敷地面積	8,190 m ²	作成者	株式会社ピーエス三菱
建築面積	3,773 m ²	確認日	2015年10月23日
延床面積	3,772 m ²	確認者	株式会社ピーエス三菱



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算: ①参照値, ②建築物の取組み, ③上記+②以外の, ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3
Q2 サービス性能: 5
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 3.6
LR2 資源・マテリアル: 2.6
LR3 敷地外環境: 3.3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	大きな敷地内での工場施設の建替え計画である。敷地外周部に緑地を設け、地域の景観や温熱環境の向上に配慮した計画としている。	その他 特になし。
Q1 室内環境 対象外	Q2 サービス性能 ・非常用発電機を備え、緊急時の信頼性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・緑地による良好な景観形成に配慮している。
LR1 エネルギー ・LED照明設備を採用している。	LR2 資源・マテリアル ・節水コマ等の水栓器具を採用している。	LR3 敷地外環境 ・燃焼設備を使用していない。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される